

## 会議結果

会議名	第5回西尾市補助金等検討委員会
日時	平成30年11月26日(月) 午後1時30分～午後3時30分
場所	西尾市役所 4階 41会議室
出席者	委員…横山会長、久世副会長、三浦委員、清水委員、榊原委員 事務局(企画政策課)…齋藤課長、松原課長補佐、鈴木主任主査、三浦 建築課…片山主査、小池主査 文化振興課…石川主幹、齋藤課長補佐、鈴木主任主査 スポーツ課…鈴木課長、小早川主事 傍聴者…3名(別紙受付票のとおり)
<p>松原課長補佐が会議を進行。 会議の概要は次のとおり。</p> <p>1 会長あいさつ(横山会長) 年内で一旦評価の区切りとする予定であったが、年度内はこのまま継続して実施していく。 本日は弥富市の職員が傍聴に来ている。弥富市で事業仕分けを実施するための参考としたいので、模範となるような会議にしていきたい。</p> <p>2 補助金の評価 (1) 補助金 No. 7, 8, 36, 51 の確定について 松原課長補佐から説明。 前々回事務局から評価案を提示したところ、委員から修正の指摘があった。修正を反映させたシートを前回会議で提示していたが、本日まで修正等の意見がなかったことを報告し、4つの補助金評価を確定とした。 (2) 補助金 No. 115, 124, 125, 126 の検討結果について 松原課長補佐から説明。 前回会議で協議した4つの補助金シートの案を事務局で作成したため報告。修正等の意見があれば次回までに事務局へ連絡をしてもらう。 (3) 補助金 No. 137, 156, 157, 164(1), 164(2) の検討結果について ●No. 137 住宅浸水対策改修費等補助金(建築課) ・主な委員からの意見等 災害対策という観点で、災害が起きた後に補助するというものなのはいかがなものか。 この補助金でこれから起こる災害に対応できるか疑問がある。起きた災害で考えるのではなく今後を見据えた制度を考える必要があると思う。 災害が起きた際の対応は、補正予算で行っていくもの。この補助金を恒常的に残しておく必要があるかは疑問がある。 市の業務は市民の生命財産を守ること。こういった事業は市だけがやれることなので効率的に努力して欲しいと思う。 個人に対する補助金なので、必要最小限であるべきだと思う。5年間に2件だけという実績</p>	

から見ても必要とは考えにくい。

災害対策ということであれば、一旦廃止をして別の支援方法を検討するなど、一から制度を見直していただき、他の手段を含めた市民の生命財産を守る方法を検討していただきたい。

●No. 156 木造如意輪観音像保存修理事業（文化振興課）

●No. 157 吉良の五本松保存修理費補助金（文化振興課）

・主な委員からの意見等（No. 156, 157 共通意見）

補助の必要性は問題ないと思う。補助額や割合に改善の余地がないかということは検討できると思う。

西尾にこういう価値がある文化財があるという PR をして、クラウドファンディング等を利用してでも保護する形があっても良いのではと思う。

文化財の保護についてマスタープラン等で定めて市として行っていくということを掲載すべきである。

財政上難しいと思うが、要綱上 1/2 や 1/3 等の補助率があるのであれば上限は無くて良いのではと考える。

文化財保護に補助をすることに異論はない。西尾の文化財を広く PR して市民が納得できるような補助制度にして欲しい。

●No. 164(1) 西尾市民運動会補助金（スポーツ課）※吉良地区

●No. 164(2) 西尾市民運動会補助金（スポーツ課）※はず大運動会

スポーツ振興というよりもコミュニティ活性化として行われてきたと考える。アンケート調査を行うなどして、一旦立ち止まって廃止を含めた検討を考えることも必要である。

一部の地域や団体に偏っている印象があり、実施するのであれば西尾市全域が対象となるような補助の仕組みの見直しが必要であると考えます。

他の小学校運動会との違いがわからない。合併時の遺産を引きずっているとしか思えない。

参加者からの負担や、地元企業の協賛金を募る等して、補助金無しで実施していけるようにすべきだと考える。

他地区の小学校でも地域を巻き込んだ運動会を開催してもいいのではと思う。

現在の補助制度を見直すという考え方もあるが、中途半端な見直しとなる恐れがあるため、まずは廃止をして、一度リセットした上で補助制度を考え直すべきだと考える。

### 3 その他

松原課長補佐から説明。

・平成 30 年度で終期を向かえる補助金は今回で全て終了。今後は今年度終期以外の補助金全てを検討していただきたい。

・次回の検討会からは、1 回で検討する補助金の数を増やす等していききたい。同じ要綱での補助金を今回のようにまとめて評価するなどの方法を検討する。会長と詰めた上で全委員に連絡する。

鈴木主任主査から説明

・1 月から 3 月までの予定を説明。

委員より補助金の受益者ごとでまとめた一覧が欲しいと要望あり。事務局で検討すると回答。

以上、15 時 30 分終了